

英語のリズムの重要性

1 どうして英語が伝わらないのか？

「どうして自分の英語は伝わらないの？」

英語学習において、あなたもこんなもどかしい経験をしたことがありませんか？ 単語も文法も一生懸命勉強してきたはずなのに、いざ勇気を出して英語で話してみたら、自分の英語が外国人にぜんぜん伝わらなかった。何度も言い直したり、ゆっくり丁寧に話したのに伝わらない…。

「やっぱり、自分には語学の才能がないんだ」、「一体、何をどうやって勉強したらいいのだろう？」と、途方に暮れたり…。場合によっては、英語に苦手意識を持つようになった人や、英語を話すこと自体が怖くなってしまった人もいるかもしれません。

でも、安心してください。あなたの英語が伝わらなかったのは、単に「**伝える英語**」を話すためのコツを知らなかったからなのです。必要な知識を学び、繰り返し練習すれば、必ずあなたの英語は伝わるようになります。

2 伝わる英語の鍵はリズムにあり

では、あなたの話す英語が伝わるようになるためには、一体何が必要なのでしょう？ それは「**英語のリズム**」を知ることです。**伝える英語を話すためには、何よりも英語のリズムに乗せて話すことが重要な**のです。

「え、英語のリズムって何？ そんなの学校でも習わなかったよ」と思っている方もご安心ください。

たしかに、学校でも英語のリズムについては教わってこなかった人が大半ですので、「そもそも英語のリズムって何？」と思っている方が多いと思います。

だから、「単語や文法も勉強してきたのに、英語が伝わらない…」

そんな悩みを持つ人が見落としてしまいがちなのが、英語のリズムなのです。単語や文法、長文読解など、熱心に英語学習に取り組んでいる人でも、「リズム」の重要性については気付いていないということがあります。

また、英語と日本語ではリズムがまったく異なる言語だということも、あなたの話す英語が伝わらない理由の1つです。そのため意識的に英語のリズムの学習をしないと、私たち日本人の場合は、どうしても日本語のリズムに引っ張られた英語を話してしまいます。そうすると、**英語本来のリズムが崩れてしまうため、いくら単語を知っていても、正しい文法であったとしても、英語が伝わらなくなってしまう**のです。

LET'S TRY!

TRACK_01

次の英単語について、ストレスを意識して音声を聞いてみましょう。

(1) **important** · important · important

(2) **station** · station · station

(3) **elevator** · elevator · elevator

(4) **internet** · internet · internet

(5) **library** · library · library

いかがでしょうか？ ストレスが置かれる音節を強く読む、という感覚をつかむことができましたか？

なお、強弱で意味を区別する英語に対して、**日本語は音の高低で意味を区別するのが特徴**です。

例えば、「橋」と「箸」という同音異義語の場合。前者は「はし(↑)」と「し」を高く読むのに対し、後者は「は(↑)し」と「は」を高く読みますよね。目の下の「クマ」と動物の「熊」も同様です。前者は「くま(↑)」と「ま」を高く読みますが、後者は「く(↑)ま」と「く」を高く読むことで、意味を区別しています。

日本語には音の強弱がないため、日本人は英語のストレスを聞き取る力が弱いと言われています。まずは英単語のストレスを意識して、リスニングやスピーキングの練習をするようにしましょう。

POINT!

意味を区別する方法の違い：

日本語は音の高低で意味を区別するのに対し、英単語は強弱によって意味を区別する

11 リズムでストレス音節をとらえる

日本人が苦手とする英語の強弱があります。それは、単語の最初にストレスが置かれていないパターンです。

日本語はすべての音節で等しく拍をとる言語です。そのため、日本人は英語を話すときも、**単語の最初にストレスを置いてしまう傾向があります**。また、英語を話すときだけでなく、聞き取るときにも無意識に日本語を聞き取るときと同じようにストレスを置いて聞くクセがついています。

そこで、ここでは単語の頭にストレスが置かれない英単語にしぼり、リズムで単語のストレスをとらえる練習をしてみましょう。

ポイントは、**ストレスが置かれている音節で拍をとるよう意識すること**。単語の区切りでストレスを置きたくなると思いますが、あくまで本来のストレスの位置で拍をとることを意識して、練習してみてください。



TRACK 23

Naomi laid her head on the desk.

“I can’t come up with any ideas!” she cried.

“I’m the lead producer in the product development department, ^① why am I all alone in the office when everyone else is outside?”

“I’ve thought and thought, but I have nothing to say at the proposal meeting tomorrow!

^② I joined this company to follow my dreams of making toys, but I haven’t achieved anything!”
Naomi said with sorrow.

“I’m trying my best, but it’s not the same as before. Now that I’ve passed thirty, I can’t think as fast. I’m always so frustrated that I’m not doing well. Maybe this product proposal will be my last.”

音読のポイント

- ① why am I all **alone** in the **office** when **everyone** else is **outside**?
オフィスに1人残っているナオミの、不満な様子を想像して読みましょう。
alone 「1人」とeveryone 「みんな」、office 「オフィス」とoutside 「外」
のように対比された言葉を強く読むと、ナオミの状況が伝わりやすくなります。
- ② I joined this company to follow my dreams of making toys, **but I** haven’t achieved **anything**!
おもちゃを作るという夢があったのに何もできていないナオミの気持ちを、
anything を強くゆっくりと読んで表現しましょう。**but I** は音をつなげて素早く読みます。

和訳

ナオミはデスクに突っ伏して「ぜんぜんアイデアが浮かばない!」と叫んだ。「私は商品開発部の開発主任なのに、なんで私1人だけ、人が出払ったオフィスにいるの?」。
「考えても考えても、明日の企画会議で言うべきことがなんにも思い浮かばない! おもちゃを作る夢を追いかけてこの会社に入ったのに、なーんにも成し遂げていないじゃない!」。ナオミは悲痛な声をあげた。
「ベストを尽くしてはいるけど、若い頃と同じようにはいかないわね。30歳を超えて、思考速度が落ちてきたみたい。いつつもいららしてばかりで、うまくいかない。たぶんこの企画案が最後になると思うわ」。

語注

- proposal 提案 achieve ~を達成する sorrow 悲しみ
 pass ~を過ぎる frustrated いらいらした



TRACK 31

① **Suddenly**, Naomi felt someone's **presence**

behind her.

She **felt** them **touch** her **shoulder** and **turned** around to **see**.

Naomi **jumped** up in **fear** and **let** out a **scream**.

② “**Who** are **you**? You **frightened** me!”

“I’m **Panda**!” In **front** of her **stood** a **giant** **panda**.

“I’ve **come** to **help** you, **Naomi**.” the panda **declared**.

“Is **this** a **joke**? **Leave** me **alone**, I’m in the **middle** of **working**.”

Naomi **yelled** at the **Panda**, but he **continued** to **stare**.



音読のポイント

① **Suddenly**, Naomi felt someone's presence behind her.

ここから、物語の場面が大きく展開していきます。「突然に」という意味を表す Suddenly を強調して読み、後ろで少し間を置くようにすると、場面の展開をうまく伝えることができます。Suddenly のストレスの位置にも注意しましょう。

② “**Who** are **you**? You frightened me!”

パンダの登場に動揺しているナオミの気持ちを想像して、なりきって音読しましょう。Who 「誰」と you 「あなた」を強調して読みます。

和訳

突然、ナオミは背後に誰かの気配を感じた。それが自分の肩に触れるのを感じて振り返ると、ナオミは恐怖で飛び上がって悲鳴を上げた。「誰なの？ 驚かせないでよ!」。「僕はパンダ!」。ナオミの目の前にはジャイアントパンダが立っていた。「助けに来たよ、ナオミ」とパンダが宣言した。「冗談のつもり？ ほっといてよ、仕事なの」。ナオミはパンダに怒鳴ったが、パンダはじっと見つめ続けた。

語注

- presence 存在
- fear 恐怖
- frighten ~をびっくりさせる
- declare 宣言する
- yell 大声を上げる
- stare じっと見つめる